

## 日程 平成 28 年 2 月 25-26 日 (御坂) 三方分山・王岳

2/25 河口湖駅＝精進バス停－女坂峠－三方分山－精進峠－パノラマ台下バス停＝根場民宿 (泊)

撮影者 田口



### 001 精進湖畔

精進バス停で下車、駿河国と甲斐国を結んだ古来の道、中道往還を女坂峠めざして、午前 11 時と、山登りにしては遅い時間にスタート。緩やかな勾配の沢沿いに住居が整然と並ぶのは他には見られない珍しい風景だ。

### 002 女坂峠

中道往還をゆっくりたどって 1 時間で阿難坂峠ともいわれる峠に着く。昔は難所とされたそうだ。北側に下れば上九一色村だ。天候は良いが、南側の富士山は 5 合目以上が雲に遮られ、雄姿を見ることが出来ない。



### 003 明るい稜線

女坂峠から三方分山への稜線は笹に覆われ、明るい。北側には樹木の間から、赤岳を中心とする八ヶ岳の峰々が望めた。南側には精進湖と青木ヶ原樹海が眺められた。



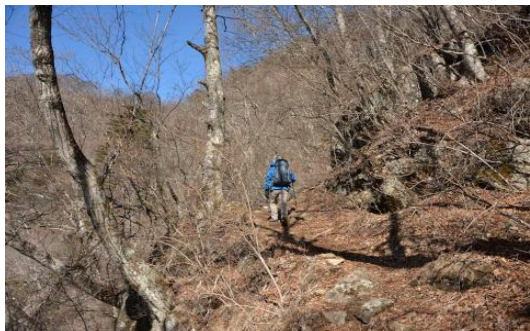
### 004 山梨百名山

三方分山 (さんぼうぶんざん) の山頂には「山梨百名山」と刻まれた真新しい標柱が設置されていた。精進湖、大室山、青木ヶ原を眺めながら、短時間での昼食を摂る。今日は、ほかのハイカーに出会うことがなく、また風もなく、天候にも恵まれた、実に穏やかな山行だ。



### 005 精進峠から急降下

峠から南東方向に急な山道を下る。道は落葉樹の落ち葉に埋もれ、足元はゴロゴロとした礫や氷結部分もあり、慎重にくだっていく。途中、運よく雲が切れたおかげで、大室山を抱く「子抱き富士」を眺めることが出来た。

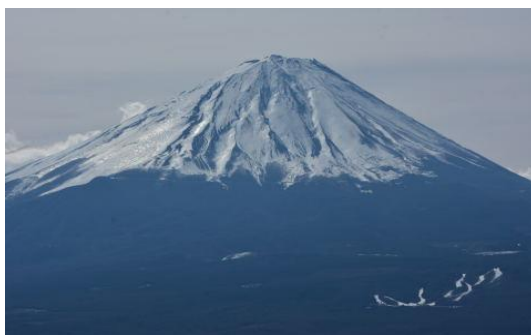


### 001 鍵掛峠へ

茅葺古民家群を移築して作られた「いやしの里」から沢沿いに林道を経由して、鍵掛峠への尾根道を辿る。雲ひとつない快晴だ。山行2日目でもあり、ゆっくりと高度を上げていく。

### 002 絶景、優美な富嶽

鍵掛峠からの富士山。眼前にこれほどの大きさで眺められ、やや興奮してしまう。まさに絶景だ。西側の広大な裾野を埋める青木ヶ原樹海も圧巻だ。



### 003 王岳への稜線

鍵掛峠からはいくつものピークを越えていく。稜線の北側に入ると道が氷結。滑らないよう足場を探しながら慎重に進む。ピークの手前は南側が切れ落ちている箇所があり、注意しながら登る。やや難所が続くが、樹間からは八ヶ岳連峰、金峰山など、また、北岳はじめ南アルプスの山々が望めて楽しい。

### 004 王岳から西湖を望む

「山梨百名山」と刻まれたやはり真新しい標柱の立つ王岳山頂からは、眼下に根場民宿群と西湖が眺められる。山頂には法華経の石碑が置かれている。



### 005 クマザサの林を下る

王岳から根場へ下る道は急勾配。カラマツとクマザサの林に付けられた九十九折の道を凍結した箇所に足を取られないよう慎重に降りていく。林道の終点にある登山口を経て、西入川沿いに林道を下り、周回コースの終点となる「いやしの里」に戻る。振り返ると、王岳のどっしりした姿が見えた。